

研究課題名 免疫チェックポイント阻害薬に伴う免疫関連副作用の新規診断マーカーおよび病態解析に関する研究 に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年11月2日以降、当院で悪性腫瘍に対して免疫チェックポイント阻害薬（オプジーボ、ヤーボイ、キイトルーダなど）が投与された方。

2. 研究目的・方法

現在、名古屋大学において「免疫チェックポイント阻害薬に伴う内分泌障害に関する研究【試験番号】2015-0273」を開始しており、免疫チェックポイント阻害薬で生じる副作用の発現頻度および詳細な臨床像の解明を目的に研究を行っています。免疫チェックポイント阻害薬の使用においては、治療が有効な症例、副作用の発現しやすい症例、副作用の早期診断マーカーの開発が望まれています。未だ明らかではありません。

そこで本研究では、「免疫チェックポイント阻害薬に伴う内分泌障害に関する研究【試験番号】2015-0273」の研究で収集した血液サンプルを用いて、内分泌障害を中心とした免疫関連副作用の早期診断マーカーの探索および病態の解析を行います。

方法は、保存されている血液サンプルについて以下の項目を検討し、新規診断マーカー、病態に関連するマーカーを解析します。

- ・ プロテインアレイを用いた新規自己抗体の解析
- ・ 質量分析による副作用患者特異的な血中蛋白、ペプチドの網羅的探索
- ・ 免疫抗体法による抗下垂体抗体の解析
- ・ ELISAを用いた血中蛋白の解析
- ・ HLA タイピング

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日 等

試料：血液（血清、血漿、末梢血単核球）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

有馬寛（研究責任者）

名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学 052-744-2142

岩間信太郎

名古屋大学総合保健体育科学センター 052-789-3969

苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：052-744-2479